

市指定文化財資料(令和8年7月1日付け指定)

①富奥じょんから

- 1 指 定 別 民俗文化財(無形民俗文化財)
- 2 種 別 芸能
- 3 名 称 富奥じょんから
- 4 所 在 地 富奥地区
- 5 所有者及び住所 上林・郷土民謡保存会
(野々市市上林)

6 指定理由(要約)

富奥じょんからは、7月下旬～8月の野々市じょんからまつりで踊られる。芸態は、後方に囃子方(横笛、三味線、歌い手、太鼓)、前方に踊り手が横一列で踊る。踊り方は農作業の仕草が基本で、田植え・草取り・稲刈りを取り入れたとされる。歌詞については、草花の自然モチーフとめでたい文句が数多く並べられている。昭和初期より始まったとされ、戦後は一時中断したものの、その後復活した。富奥じょんからは、旧富奥村の時代から地域の象徴として継承されている点が貴重である。



②御経塚じょんがら

- 1 指 定 別 民俗文化財(無形民俗文化財)
- 2 種 別 芸能
- 3 名 称 御経塚じょんがら
- 4 所 在 地 御経塚
- 5 所有者及び住所 御経塚じょんがら保存会
(野々市市御経塚)

6 指定理由(要約)

御経塚じょんがらは、7月下旬～8月の野々市じょんからまつり及び地区の夏祭り(8月中旬)に踊られる。芸態は、後方に囃子方(横笛、三味線、歌い手、太鼓)、前方に輪になって踊り手が踊る。踊り方は農作業の仕草が基本で、田植え・草取り・稲刈りを取り入れたとされ、大きな動きに特徴がある。歌詞については、日常生活の情感と皮肉などをとり入れた唄となっている。古老の話によると明治時代には行われていたと推測される。太平洋戦争中の中断などはあったが、その後復活した。御経塚じょんがらは、旧押野村の時代から地域の象徴として継承されている点が貴重である。

